

せきね 知っ得! 通信

12

December

2020

社会保険労務士法人せきね事務所 せきね FP 事務所
〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL0258-83-3048 FAX0258-83-3049
メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ http://www.office-sekine.com
第123号 発行：2020年12月

早かった・・・今年もあと少し。

雇用調整助成金の特例措置 (10/10) 2月末まで延長

12月末に期限を迎える雇用調整助成金の特例措置、緊急雇用安定助成金、感染症対応休業支援金等については、令和3年2月末まで延長となりました。その後は、段階的に縮減を行っていく予定です。感染が急拡大増しており、先行き不透明ではありますが、利用できるものは出来るだけ利用して乗り越えて行きましょう。



2020年を振り返って 「良かったこと」

今年はこれまで経験したことのない時間を過ごしてきました。愚痴を言えばキリがないので「良かったこと」に絞って1年を振り返ってみたいと思います。



新しい出逢い

今年ほど、キャパオーバーの仕事を受託したことはありません。「今こそ社労士事務所として社会貢献！」と考え、「他の社労士に依頼したが断られた」「自社では申請が難しく困っている」など、難易度高めの雇用調整助成金申請を数多くお手伝いさせていただきました。一時期、休日返上となりましたが、「有難い。助かった！」などの言葉を耳にしてやりがいを感じました。今回、出逢ったサービス業の皆様とは、今年がなければ一生縁がなかったかもしれません。良かったことの1番目に挙げたいと思います。

新しい仕事のやり方

これまでは、研修やセミナー受講で東京など遠方へ出向くのは当たり前で、交通費が受講料を上回ることもありました。しかし、Zoomなどで開催となったため、時間とお金の節約が可能になりました。



また、テレワーク環境の整備のため、これまですべて「紙」で保管していた多くの書類をデータ化しクラウド上に保存することにしました。過去のデータ化にはまだ時間がかかりそうですが、分厚いファイルで満杯の書庫もいずれ様変わりすることでしょう。

新しい時間の過ごし方

以前から美術館めぐりが好きで、いつか自分も描いてみたいと思っていました。今年、「日本画教室 初心者コース」を受講し、さぶろくさんを描いた作品を完成させました。インドアの趣味は時代向きですね。

また、昨年始めたゴルフですが、レストランもお風呂も使わない「完全スループレー」はコロナ対策のみならず、休日の有効活用にもってこいです。



来年はもっといいことがありますように。

先日、「労働環境における多様性の視点の必要性」というテーマでジャーナリストの治部れんげさんの講義を受講しました。受講してみると意外に収穫があり、個人的な意見も含め特集します。

女性が元気な組織は持続的に発展する

TOPIX100 企業の役員女性比率3割を目標にする機関投資家のグループがあるそうです。その理由は、企業の持続的な成長には女性役員など意思決定層に多様性が不可欠とのこと。

あくまで私の肌感覚ですが、「女性が元気」だと「組織も元気」という印象があります。社長が男性のケースが多い中、例えば、社長の奥様が社長を立てつつ従業員をきめ細かく気遣う組織や、社内の女性が生き生きしている企業は輝いて見えます。

一方で、同じ仕事なのに男性より女性の給与があからさまに低い企業や、能力があるのに関わらず女性に責任ある仕事を任せていない企業には、将来的な閉塞感を感じます。

ある会社の幹部に、御社はなぜ男女の給与格差が大きいのかと尋ねたとき「男性は給与が低いと働かないが、女性は給与に関係なく働くから」と回答されて絶句しました。労働力人口が減少する未来にそんな企業が選ばれるのでしょうか？



若者より年長者、女性より男性が尊重される風土

地方の若年人口の流出はコミュニティの存続の危機と言われていますが、今、もっとも深刻なのが「若い女性が戻ってこないこと」と言われています。

「町内の集まりに夫の代わりに参加したら、ダンナは来られないのか？」と言われた女性。男尊女卑のふるさとは帰りたくないという合理的な意見もあるとか。私も、結婚後の就職先で意見を言ったら、上司に面倒くさそうな表情をされたのが忘れられません。地方では、若者より年長者、女性より男性が尊重される傾向があるのは否定出来ないでしょう。



少数派の気持ちになってみる

会議で経営者や年長者だけが発言し、若者や女性は聞くだけになっていないのでしょうか？

若者や女性は意見がないのでしょうか？そもそも自由な意見が言える雰囲気がないから思考停止しているのかもしれませんが。

例えば、自分だけ年齢が離れているとか、自分だけ初心者とか、誰でも自分が「少数派」になった経験があるはず。そんなとき「どうしてもらったら意見を言い易いか？」考えてみるといいそうです。



女性は10割自信がないと引き受けない

ある管理職は、女性は遠慮するから、男性より頻繁に「昇格試験を受けて」と声かけをするそう。また、ある経営者は、女性が「昇進したくない」と言ったら、必死で説得すると決めています。なぜなら「男性は6割の自信で引き受けるが、女性は10割自信がないと引き受けない」という研究結果を知ったからだそうです。

参考になれば幸いです。



「気になる！」を勝手に情報発信コーナー

書籍

罪の声

塩田 武士

実際あった「グリコ・森永事件」を題材にした小説。

新聞記者の阿久津は、昭和最大の未解決事件を追う特別企画班に選ばれ、30年以上前の事件の真相を求めて、取材を重ねる日々を送っていた。過去の事件を追い続ける中、次第に事件に関わった子どもたちの未来が気になっていく。

一方、京都でテーラーを営む曽根は、父の遺品の中にカセットテープを見つける。気になりテープを再生してみると、幼い頃の自分の声が聞こえてきた。その声は、複数の食品関係企業を脅迫して日本中を震撼させた事件の脅迫テープだった。

この本はフィクションですが、モデルにした「グリコ・森永事件」について、極力史実に基づいて書かれています。「キツネ目の男」や「株の仕手戦」など、読み進めながら「これが事件の真実ではないか？」と思わせる迫力です。特に、大人のエゴで、声を犯行に使われた子どもたちがその後の人生で苦しむ様に胸がキリキリ痛みました。山田風太郎賞を受賞するなど高い評価に納得です。



映画

新解釈・三國志

誘われるがままに、「今日から俺は！！」の福田雄一監督作品を見に行ってしまうました。

キャストには、ムロツヨシ、佐藤二郎、賀来賢人、橋本環奈など福田組オールスターが揃っています。

「新解釈」に興味がありましたが…かなりのふざけ方です。底抜けにバカバカしく楽しいのですが、映画館まで足を運ぶほどのものか？疑問？ 居間のテレビで見るのが丁度いい感じでした。



今月のさぶろく

(せきね事務所の看板ねこ・4歳3ヵ月)

テレワーク環境の整備のため、この度、全員分のノート型パソコンを購入！

さっそく、新しいパソコンでZoomを試してみました。

さぶろくさんにも参加してもらおうと四苦八苦。バーチャル背景にすると、猫は写らないのです(汗)

すったもんだの末、奇跡の一枚が撮れました。

